

神戸に編入した頃の須磨

白砂青松で有名な須磨浦。夏は涼しく冬は温暖な気候。そして古来、都人も憧れた歴史文化に恵まれた地。近代では住宅地や保養地に最適な土地柄としても知られる。そんな須磨に、明治21年山陽鉄道須磨駅開業。以来、居留地で働く外国人、さらに旧三田藩主・九鬼隆輝氏や藤田伝三郎氏らが邸宅を構え、同30年代には、住友家須磨別邸・洋館が建つと、瀧川辨三、山下亀三郎、久原房之助、松方幸次郎、辰馬悦蔵、鈴木よねそして大谷光瑞氏らもこぞって邸宅を構えた。ついに大正3年には別荘文化の象徴・武庫離宮が造営されるに至る。第一次世界大戦による好景気で富を得た小曾根喜一郎、岡崎忠雄、内田信也各氏も邸宅を構えた。『武庫郡誌』によると、同4年、須磨の総人口14,924人に対し非本籍者の居住する割合は3割強を

占め、まさに別荘地の先駆け、財界人の憧れの地となっていく。同8年11月、陸軍大演習が当地で実施され、天皇は武庫離宮に、皇太子は住友家別邸にご宿泊。まさに「全国から期待される須磨」である。これらを背景に、同9年4月1日、武庫郡須磨町は、近代的な街への発展を期待して神戸市に編入する。早速に6月、コレラが市内で大流行し、上水道がなかった須磨地区は、一時井戸を全部閉鎖したが、市より無料給水を受ける。編入の効果であろう。また同12年東西須磨公設市場が開設される。大正12年から天井川改修工事が行われていたが、同13年その跡地天井川沿い・須磨北町に須磨出張所を新築移転した。そして念願の上水道工事が完成し、さらに近代的な街へと発展する本格的な足掛かりとなっていく。

須磨のあゆみ100年

明治期

1886年(明治19年)
1889年(明治22年)
1896年(明治29年)
1912年(明治45年)

須磨10カ村(板宿村、大手村、西代村、池田村、妙法寺村、車村、白川村、東須磨村、西須磨村、多井畑村)が八部郡板宿村外九カ村戸長役場の統轄下に入る
八部郡須磨村と改称
八部郡、菟原郡、武庫郡が合併して兵庫県武庫郡となる
町制施行により須磨町となる

大正期・昭和初期

1920年(大正9年)
1924年(大正13年)
1925年(大正14年)
1926年(大正15年・昭和元年)
1927年(昭和2年)
1930年(昭和5年)
1931年(昭和6年)
1935年(昭和10年)
1937年(昭和12年)
1938年(昭和13年)
1941年(昭和16年)
1942年(昭和17年)
1945年(昭和20年)

兵庫県武庫郡須磨町が神戸市に編入
須磨町役場を神戸市役所須磨出張所と改称(月見山本町2丁目)
須磨地区水道工事完成
須磨出張所移転(須磨北町1丁目)
須磨百首かるた発売
天井川改修工事完成
須磨天神橋跨線橋竣工
市営バス運転開始(須磨駅前～六甲桜口間)
神戸市を8区に分割、区制を実施(灘、葺合、神戸、湊東、湊、湊西、林田、須磨)
須磨浦公園開園
市電須磨線全線開通、市電板宿線開通
阪神大水害おこる
明石郡垂水町を神戸市に合併、須磨区に編入
安德帝内裏跡伝説地の石標を西須磨協議会が建立
神戸市8区を6区に再編成(灘、葺合、生田、兵庫、長田、須磨)
西神戸大空襲によりまちが焼失



須磨百首かるた



須磨浦公園開園時のようす



「安德帝内裏跡伝説地」の石標



須磨区役所(東須磨南町1丁目)

昭和中期

1945年(昭和21年)
1948年(昭和23年)
1949年(昭和24年)
1951年(昭和26年)
1952年(昭和27年)
1954年(昭和29年)
1955年(昭和30年)

須磨区内の垂水地区を新たに「垂水区」とし市内7区に再編成
須磨海浜公園付設海水浴場開設
須磨区役所移転(東須磨南町1丁目)
須磨海浜公園開園
納涼花火大会を須磨海岸にて開催
須磨観光協会創立
須磨区連合婦人会結成

1956年(昭和31年)
1957年(昭和32年)

須磨海浜公園野球場完成
須磨水族館開館
須磨浦ロープウェイ架設
須磨海浜公園内に須磨ビーチハウス開館
須磨浦山上遊園開園
須磨寺堂谷池々畔に温泉湧出「須磨温泉」と命名
高倉山で須磨ベルトコンベアーの工事始まる
須磨区役所移転(中島町1丁目1番地)
須磨離宮公園開園



須磨浦山上遊園開園時の須磨浦公園駅



須磨離宮公園開園時のようす



グリーンエキスポ85の
人気者「金絲猴」



神戸総合運動公園陸上競技場完成

1978年(昭和53年)
1980年(昭和55年)

須磨町神戸市編入50年
第1回神戸まつり「須磨音楽の森」開催
須磨海岸を美しくする運動推進協議会が発足
須磨海釣り公園開園
須磨区役所北須磨支所開設(市営地下鉄名谷駅舎2階)
菅の台・竜が台(垂水区)を須磨区に編入
市営地下鉄名谷・新長田間開通
須磨ヨットハーバー開設
須磨パティオ開業
第1回須磨大茶会開催
須磨区民センター、須磨体育館開館
須磨太鼓誕生

1985年(昭和60年)

神戸総合運動公園陸上競技場(ユニバー記念競技場)完成
神戸総合運動公園(垂水区)、神戸流通業務団地(西区)を須磨区に編入
グリーンエキスポ85開幕(神戸総合運動公園)
ユニバーシアード神戸大会開催
須磨区の花を「コスモス」に決定
須磨海浜水族園開園
神戸総合運動公園野球場(グリーンスタジアム神戸)完成
須磨区役所北須磨支所移転(名谷センタービル)
市制100周年須磨区記念行事「須磨源平武者行列」開催



須磨海浜水族園開園



市制100周年「須磨源平武者行列」

平成期

1991年(平成3年)
1993年(平成5年)
1995年(平成7年)

第1回須磨新能開催
神戸総合運動公園体育館(グリーンアリーナ神戸)完成
阪神・淡路大震災発生(1月17日)
須磨区内被害状況(死亡者 401人 全壊 7,696棟 半壊 5,608棟 全焼 407棟 半焼 9棟)

1996年(平成8年)

新春復興風揚げ大会開催
震災1年復興記念植樹(下中島公園)
シーバル須磨開館
須磨区の木を「松」に決定
須磨海岸を守り育てる条例を施行
須磨区役所移転(市立大黒小学校跡地)
須磨区マスコットキャラクター「すまぼう」誕生
武庫離宮(現・須磨離宮公園)造営100年
須磨町神戸市編入100年を迎える
須磨海岸整備完了(遠浅化、遊歩道の整備など)



新春復興風揚げ大会



須磨区マスコットキャラクター
すまぼう